

# 学生募集要項

## 修士課程(博士前期課程)

平成31年04月入学  
平成30年10月入学

北海道大学大学院環境科学院

平成30年4月

裏表紙（空白）

## 目 次

1. 平成30年度に実施する入学試験一覧表	1
2. 入学願書の請求	1
3. 出願資格	2
4. 出願資格事前審査	3
5. 出願書類	3
6. 試験会場	5
7. 入学者選抜方法	5
8. 合格発表	5
9. 入学手続	5
10. 入学料・授業料	5
11. 長期履修制度	5
12. 個人情報の取扱い	5
13. 注意事項	5
14. 各専攻の試験について	
環境起学専攻	7
地球圏科学専攻	9
生物圏科学専攻	11
環境物質科学専攻	13
15. 参考資料(研究指導教員一覧表)	15

### 環境科学院の教育目標

環境科学院は、自然科学に基礎をおき、地球規模の環境問題の解明と解決を目指す教育と研究を行うとともに、これらの課題に取り組む研究者及び高度専門職業人を養成することを目的としています。このため、地球圏科学、生物圏科学、環境物質科学という自然科学の学問分野を基盤とした3専攻と、それらの専門性を統合し環境問題に包括的に取り組む環境起学専攻を設置し、国際社会で活躍するために必要な専門能力の養成に努めています。

### アドミッションポリシー

環境科学院では、自然科学の基礎を有し、地球環境に関する興味並びに地球環境が抱える種々の問題とその解決法に関心を持つ多様な学生を広く受け入れます。

また、社会で活躍しながら環境科学についての研鑽をいっそう積みたい社会人、先端の環境科学を学ぶ意欲に溢れる外国人留学生等の受け入れも積極的に進めています。そのために、大学院での授業履修および研究遂行に必要な基礎学力の確認を中心に、多様な入試を展開しています。

## 1. 平成30年度に実施する入学試験一覧表

入学時期		平成 30 年 10 月	平成 31 年 4 月			
			特別 推薦入試	秋季入試	秋季推薦入試 秋季特別入試	春季入試
入学試験名		10月入学入試				
スケジュール	試験日	H30.8.23～24	H30.5.28	H30.8.23～24	H30.11.21	H31.2.28～3.1
	出願資格事前 審査申請書類 提出期間	H30.5.14～25	—	H30.5.14～25	H30.9.10～21 (環境物質科学 専攻を除く)	H30.11.12～22
	出願期間	H30.7.9～20	H30.4.25～ 5.11	H30.7.9～20	H30.10.15～10.26	H31.1.15～25
	合格発表日	H30.9.6	H30.6.7	H30.9.6	H30.12.6	H31.3.7
試験会場	札幌会場	○	○	○	○	○
	東京会場	—	○ (物質のみ)	—	○ (起学・物質のみ)	—
募集人員 (注1)	環境起学専攻 (定員 44 名)	○	—	20～30 名程度	○	20 名程度
	地球圏科学 専攻 (定員 35 名)	○ (大気海洋物理 学・気候力学コ ースは募集しない)	—	30 名程度	○	○
	生物圏科学 専攻 (定員 52 名)	○	5 名程度 (高専専攻科 在学対象)	50 名程度	○	○
	環境物質科学 専攻 (定員 28 名)	○	5 名程度 (高専専攻科 在学対象)	20 名程度	5 名程度 (注2)参照	○

(注1) 募集人員の「○」印は、数名から10名程度の合格者を想定している。

(注2) 環境物質科学専攻の秋季推薦入試は、国内大学在学学生および卒業生もしくは高専専攻科修了生を対象とする。

## 2. 入学願書の請求

- ・入学願書は環境科学院窓口(札幌市北区北10条西5丁目)で配付する。
- ・郵送で取り寄せる場合は、返信用封筒(角2型封筒に宛名を明記し、205円分の切手(速達の場合は485円分)を貼付)を同封し、封筒の表に「入学願書(修士課程)請求」と朱書きし請求すること。

【請求先】060-0810 札幌市北区北10条西5丁目 北海道大学環境科学事務部 教務担当

- ・不明な点は、電話(011-706-2204・2205)またはメール(kyomu@ees.hokudai.ac.jp)で問い合わせること。

### 3. 出願資格

- ① 日本国内の大学を卒業した者(および入学時期の前月までに卒業見込みの者)
- ② 大学改革支援・学位授与機構より学士の学位を授与された者  
(および入学時期の前月までに授与される見込みの者)
- ③ 外国で学校教育における16年の課程を修了した者  
(および入学時期の前月までに修了見込みの者)
- ④ 外国の学校が行う通信教育の授業科目を我が国で履修することで、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者(および入学時期の前月までに修了見込みの者)
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した者(および入学時期の前月までに修了見込みの者)
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校(※1)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(※2)により、学士の学位に相当する学位を授与された者  
(および入学時期の前月までに授与される見込みの者)  
※1 その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。  
※2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。
- ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(および入学時期の前月までに修了見込みの者)
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者(旧制学校等および防衛大学校・海上保安大学校・気象大学校など各省大学校を修了した者など 昭和28年文部省告示第5号参照)
- ⑨ 日本の大学に3年以上在学し、または外国で学校教育における15年の課程、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国で履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程、もしくは我が国で外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度で位置付けられた教育施設で、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本学院で本学における所定単位を優れた成績で修得したと認めた者(以下「在学期間短縮による志願者」という)【出願資格事前審査必要】
- ⑩ 本学院の出願資格審査で大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で入学時期の前月までに22歳に達する者(以下「個別の資格審査による志願者」という)【出願資格事前審査必要】

注 出願資格⑩は、日本国内及び外国の短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校やその他の教育施設の卒業又は修了者等で①～⑨の出願資格を有しない者が対象。

注 社会人として在職したまま出願・修学を希望する場合は、出願前に指導を希望する教員に連絡し、入学試験、入学後の修学等について十分相談すること。

#### 4. 出願資格事前審査

「3.出願資格」の⑨「在学期間短縮による志願者」または⑩「個別の資格審査による志願者」に該当する場合は、出願資格事前審査を行うので、「5. 出願書類」と下記申請書類を指定期日までに提出すること。なお、検定料については事前審査申請時には納付せず、審査結果確認後出願期間に納付すること。審査結果は出願期間開始日までに書面で通知する。

申請書類の請求方法

【請求(提出)先】060-0810 札幌市北区北10条西5丁目 北海道大学環境科学事務部 教務担当  
封筒の表に「出願資格事前審査(修士課程)申請書類請求」と朱書きし、以下の物を同封して請求すること。

1. 返信用封筒(角2型封筒に宛名を明記し、120円分の切手(速達の場合400円分の切手)を貼付)
2. 以下の a および b について記載したもの(様式任意)
  - a. 出願資格が⑨「在学期間短縮による志願者」または⑩「個別の資格審査による志願者」のどちらに該当するか
  - b. 請求者の連絡先電話番号

申請書類一覧

出願資格	申請書類	備考
⑨	入学出願資格審査申請書	[所定用紙]
	推薦書	出身大学長または学部長が作成・厳封したもの [様式任意]
	将来の抱負	様式任意(A4縦長,横書き1,000字以内)
	返信用封筒(審査結果送付用)	長形3号の封筒に宛名を明記し,82円分の切手を貼付
⑩	入学出願資格審査申請書	[所定用紙]
	最終出身学校卒業後の学習・研究歴,研究内容または実務経験および入学後の研究計画・抱負等をまとめたもの	様式任意(A4縦長,横書き2,000字以内)
	返信用封筒(審査結果送付用)	長形3号の封筒に宛名を明記し,82円分の切手を貼付

※なお、審査する上で必要と認めた場合は、上記以外の書類の提出を求められることがある。

#### 5. 出願書類

以下の出願書類等を出願期間内に提出すること。

【提出先】060-0810 札幌市北区北10条西5丁目 北海道大学環境科学事務部 教務担当  
窓口受付時間 9:00-16:30(土日祝日を除く)

- ・出願書類に不備がある場合は受理しないので、誤記や記入漏れに注意すること。
- ・出願書類の記載内容が事実と相違する場合は、入学を取り消すことがある。
- ・郵送の場合は、封筒に「大学院入学願書在中」と朱書きし、簡易書留で送付すること(出願期間内必着)。
- ・入学願書を受理した者には、試験日の1週間前までに受験票を送付する。
- ・不明な点は、電話(011-706-2204・2205)またはメール(kyomu@ees.hokudai.ac.jp)で問い合わせること。

#### ■全専攻共通で提出するもの

専攻	該当者	提出書類	備考
全専攻	全員	入学願書(1)~(3)	[所定用紙] (2)は出願する専攻のもののみ提出すること。
		写真(2枚)	出願前3ヶ月以内撮影(4cm×3cm・上半身・正面・無帽)写真裏面に氏名を明記し,入学願書(3)に貼付すること。
		成績証明書	・出身大学(学部)等の長が発行するもの ・特別推薦入試出願者は,高専本科及び専攻科の成績証明書を提出。 ・出願資格⑩の者は最終出身学校の証明書を提出。
		卒業(見込)証明書	・出身大学(学部)等の長が発行するもの ・出願資格②の場合,大学改革支援学位授与機構が発行する「学位授与証明書」を提出すること(申請中の場合は「学位授与申請受理証明書」。高専専攻科修了見込者で申請予定の場合は高専発行の「学位授与申請予定証明書(様式任意)」)。 ・出願資格⑩の者は最終出身学校の証明書を提出。
		返信用定型封筒	[所定封筒]宛名明記・切手362円分貼付
		返信用宛名シール	[所定シール]宛名明記 ※返信用封筒に貼付しないこと。
		検定料	30,000円([所定振込通知書]で納付し,同通知書右側「検定料受付証明書」を入学願書(1)に貼付。既納の検定料は返還しない。)・国費外国人留学生,本学私費特待プログラム留学生及び中国政府国家公派研究生項目派遣学生は不要
外国人留学生	在留カードまたはパスポートのコピー	日本在住の外国人:在留カードのコピー 上記以外の外国人:パスポートのコピー	

## ■出願する専攻により提出するもの

専攻	出願する入試	提出書類	備考
環境起学	該当者・秋季推薦入試	TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアシート	「TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアシートについて」参照
	秋季推薦入試	自己推薦書	入学後の修学に関わる能力についての自己推薦書 (A4 版 1 枚)
		推薦書 2 通	受験者の能力を的確に判断できる者 2 名からそれぞれ 1 通必要 (様式は環境起学専攻ホームページからダウンロードすること)
		小論文 (国際環境保全コースのみ)	志望動機と本学院で行いたい研究テーマに関する小論文 (英文・A4 版・1500 ワード程度) の内容についても問う。
地球圏科学	該当者 (秋季・春季・10 月入学入試)	TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアシート	「TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアシートについて」参照
	専門科目試験で b 方式を選択する出願者 (大気海洋物理学・気候力学コースを除く)	小論文	出願期間最終日の 2 週間前までにコース教員に連絡を取り、与えられた課題について、4000 字程度の小論文を出願書類と共に提出すること。
生物圏科学	特別推薦入試 秋季特別入試	TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアシート	「TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアシートについて」参照
	特別推薦入試	自己推薦書	これまでの研究概要 (またはその背景) と志望理由を自己推薦書 (A4 版で 1500 字程度, ワードプロ使用可) としてまとめたもの。なお, 卒業研究が課されていない等の場合は, これまでの研究概要に代えて, 入学後に従事したい研究について調べた内容をまとめてもよい。
		推薦書	学校長または専攻科長 (あるいはそれに相当する者) の推薦書 (英語, 生物の基礎学力に関する所見を含む。様式自由で A4 紙 1 枚程度)
	春季入試	小論文	これまでに勉強したこと [卒業論文の内容を含む], これからの抱負, 出願理由について 4000 字程度にまとめること。口述試験の際の参考資料にする。
環境物質科学	自己推薦選抜出願者 (秋季・春季・10 月入試) 特別推薦入試 秋季推薦入試	自己推薦書	これまでの研究概要 (またはその背景) と志望理由を自己推薦書 (A4 版で 1500 字程度, ワードプロ使用可) としてまとめたもの。なお, 卒業研究が課されていない等の場合は, これまでの研究概要に代えて, 入学後に従事したい研究について調べた内容をまとめてもよい。
	特別推薦入試 秋季推薦入試	推薦書	特別推薦入試は, 学校長または専攻科長 (あるいはそれに相当する者), また秋季推薦入試は, 学科長または指導教員 (あるいはそれに相当する者, 卒業生においては在学中の指導教員もしくはそれに相当する者) の推薦書 (英語, 化学の基礎学力に関する所見を含む。様式自由で A4 紙 1 枚程度)
	右記試験を受験した者	TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアシート	「TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアシートについて」参照

### TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアシートについて

#### (1) 有効なスコアシート

本学試験日から遡り 2 年以内に実施された試験のスコアシートのみ有効とする。TOEFL-ITP, TOEIC IP, TOEIC BRIDGE 等のスコアシートは受け付けない。IELTS は, アカデミックモジュールのみ有効とする。

#### (2) 提出方法等について

種類	提出方法等
TOEFL	<p>1. TOEFL スコアシート提出には, 下記の両方が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①Examinee's Score Record のコピーを願書と共に提出すること。</li> <li>②Official Score Report が ETS から北海道大学大学院環境科学院に直接郵送されること。</li> </ul> <p>2. Official Score Report の郵送依頼方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①受験時に本学院のコード番号8744で送付を依頼 (無料) すること。</li> <li>②受験後, Additional Score Reports Service により ETS に本学院のコード番号8744で送付を依頼 (有料) すること。</li> </ul> <p>注) 1) 依頼方法については, CIEEのホームページ (<a href="http://www.cieej.or.jp">http://www.cieej.or.jp</a>) またはETSのホームページ (<a href="https://www.ets.org/jp/toefl">https://www.ets.org/jp/toefl</a>)を参照すること。</p> <p>2) 出願時に提出できない場合は, 受験日にはOfficial Score Reportが本学院に到着するよう早めに依頼すること。</p>
TOEIC	TOEIC 公式認定証 (原本) を願書と共に提出すること。認定証は入学試験日に返却する。
IELTS	成績証明書 (Test Report Form) のコピーを願書と共に提出すること。

## 6. 試験会場

札幌会場:北海道大学大学院環境科学院 (北海道札幌市北区北10条西5丁目)

東京会場:北海道大学東京オフィス (東京都千代田区丸の内1丁目7-12サピアタワー10階)

## 7. 入学者選抜方法

学力試験(外国語試験, 専門科目試験, 口述試験, 基礎学力試験等)の結果, および, 提出書類(成績証明書, 推薦書, 小論文等)を総合して合格者を決定する。

## 8. 合格発表

合格発表日の午後3時に環境科学院玄関ホールに合格者の受験番号を掲示する。受験者全員に郵送で可否を通知する。電話等による照会は一切受け付けない。なお, 合格者には, 入学手続に関する通知を同封する。

## 9. 入学手続

・10月入学試験合格者:合格通知同封の入学手続書類により, 期間内(9月初旬頃)に手続きすること。

・4月入学試験合格者:

【春季入試】合格通知に同封する入学手続書類により, 期間内(3月初旬頃)に手続きすること。

【春季入試以外】2月中旬頃に合格者に(合格通知とは別に)送付する入学手続書類により, 期間内(3月初旬頃)に手続きすること。

## 10. 入学科・授業料

入学科:282,000円

授業料:前期分 267,900円(年額 535,800円)

※上記納付金は予定額であり, 入学時および在学時に学生納付金の改定が行われた場合には, 改定時から新たな納付金が適用される。

## 11. 長期履修制度

詳細について別紙(次項)を参照すること。

## 12. 個人情報の取扱い

出願書類記載の氏名・性別・生年月日・住所等の個人情報は, 入学者選抜および入学手続を行うために利用する。同個人情報は, 合格者のみ入学後の教務関係(学籍, 修学指導等), 学生支援関係(健康管理, 奨学金申請等), 授業料等に関する業務を行うために利用する。ただし, 氏名・住所に限って, 北大フロンティア基金および本学関連団体である北海道大学校友会エルムから連絡を行うために利用する場合がある。また, TOEFL, TOEIC, IELTSのスコアについては, 入学者のみ本学学生の英語力向上に向けた検討のための統計資料として利用する場合がある。上記以外には利用しない。

## 13. 注意事項

・入学試験当日は, 受験票を必ず持参し机の上に置くこと。

・入学試験では, 特に記載のない限り筆記用具および時計(計算・通信機能等が付いたものを除く)以外(電卓, 辞書等)は使用できない。

・筆記試験は, 試験時間終了まで退室できない。

・入学志願者で身体に障害を有する場合は, あらかじめ受験上及び修学上の対応が必要となることがあるので, 出願期間前までに環境科学事務部教務担当に申し出ること。

## 長期履修制度について（案内）

### 1. 趣旨

学生が職業を有している等(介護・育児等を含む)の事情により、標準修業年限(2年)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を修了したい旨を申し出たときは、個別に審査のうえ、その計画的な履修(以下「長期履修」)を認めることができる制度です。

### 2. 対象者

次の各号のいずれかの事由に該当する者で、かつ、当該事由により、学業に専念できないため、課程修了に要する学修(研究)計画年数を予め長期に設定することを希望する者が申請できます。

- (1)官公庁、企業等に在職している者(給与の支給を受け、職務を免除されている者を除く)又は自ら事業を行っている者等フルタイムの職業に就いている者
- (2)本学院において、アルバイト、パートタイム等の職業に就いている者で、その負担により修学に重大な影響があると認めたもの
- (3)本学院において、育児、親族の介護等前2号に準じる負担により、修学に重大な影響があると認めた者
- (4)本学院において、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由その他の障害を有している者で、その障害により長期にわたり修学に重大な影響があると認めたもの

### 3. 在学期間

長期履修による修業年限は、修士課程にあつては4年以内で、年を単位として申請することができます。また、修士課程の学生が在学できる年限は、長期履修を認められた期間に2年を加えた期間までです。なお、本学院において休学を許可することができる期間は、長期履修学生も標準修業年限の学生と同じく2年間までです。

### 4. 申請手続き等

#### (1) 申請期限

原則として、入学願書提出時に長期履修を申し出なければなりません。

#### (2) 提出書類等

前号の長期履修申請者は、次の書類を環境科学事務部教務担当に提出してください。

- ①長期履修申請書(様式1)
- ②長期履修計画書(様式2),
- ③長期履修が必要であることを証明する書類等

#### (3) 審査及び結果通知

長期履修の申請があつた場合は、審査を経て、その結果を申請者あてに通知します。

(審査結果の通知時期: 10月入学者は9月中旬, 4月入学者は3月中旬の予定)

### 5. 履修期間の短縮又は延長

本学院において必要と認めるときは、長期履修期間の短縮又は延長を在学する課程において1回に限り認めることができます。ただし、長期履修期間の短縮を申請することのできる期間は、標準修業年限(2年)に1年を加えた期間までです。

### 6. 授業料の取扱い

長期履修が認められた者の授業料は、標準修業年限に納入すべき授業料の額(年額×2年)を長期履修が認められた年数で除した額を年額として決定します。なお、授業料の改定があつた場合又は長期履修期間の変更が許可された場合等は、その都度再計算します。ただし、納入済みの授業料を遡って調整することはありません。

【長期履修申請期間に係る授業料は、決定通知があるまで絶対に納入しないでください。】

### 7. その他

申請用紙の請求及び不明な点については、環境科学事務部教務担当あてお問い合わせください。

## 14. 各専攻の試験について

### 環境起学専攻

#### 1. 試験時間, 試験内容等

入試	試験期日	試験科目	時 間	備 考
秋季入試, 10月入学入試	8月23日	外国語	10:00～12:00	「3. 外国語」参照
		専門科目	13:00～15:00	「4. 専門科目」参照
	8月24日	口述試験	別途指定	「5. 口述試験」参照
秋季推薦入試	11月21日	口述試験	別途指定	「5. 口述試験」参照
春季入試	平成31年 2月28日	外国語	10:00～12:00	「3. 外国語」参照
		専門科目	13:00～15:00	「4. 専門科目」参照
	実践環境科学コースのみ筆記試験を実施する。 他の3コースは, 専門科目の筆記試験は行わない。			
平成31年 3月1日	口述試験	別途指定	「5. 口述試験」参照	

#### 2. 事前の連絡について

出願希望学生は, 受入体制を確認の上, 出願すること。

- 1) 志望する指導教員を決めている場合には, 電子メール(15ページ参照)で指導教員に志望コースなどを連絡・確認すること。
- 2) 志望する指導教員を決めていない場合には, 電子メール(kigaku@ees.hokudai.ac.jp)で専攻長宛に連絡すること。

#### 3. 外国語

- ・外国語は「英語」とする。
- ・TOEFL, TOEICまたはIELTSのスコアシート提出した場合は, 外国語試験を受験しなくてもよい。
- ・スコアシートを提出しても, 外国語試験の受験は可能である(専攻が定めた換算式により優れた方の成績を外国語試験の成績とする)。
- ・国際環境保全コースを志望する者は, できるだけ上記スコアシートを提出すること。
- ・秋季推薦入試の受験者は, 必ず上記スコアシートを提出すること。

#### 4. 専門科目

コース	秋季入試, 10月入学入試	春季入試
人間・生態システム 環境適応科学 国際環境保全	<p>日本語か英語かどちらかで記述された問題冊子1冊と, 答案用紙4枚を受け取り解答する。数理・物理系2問, 生態・地理系2問, 環境・社会系2問, および化学・生物系2問からなる合計8問の選択問題からは1問のみを選択するのに対して, 環境科学(必須)は3問すべてに解答する。</p> <p>1問につき1枚の答案用紙を使用する。各問題の試験範囲を示す参考書はホームページに掲載されている。</p>	<p>筆記試験は行わない(口述試験における発表および質疑応答により, 専門性について試問する)。</p>
実践環境科学	<p>日本語で記述された問題冊子1冊と, 答案用紙2枚を受け取り, 1問につき1枚の答案用紙を使用する。環境科学(環境教育・地域課題解決・地球温暖化・エネルギー・リサイクル・生物多様性など)に関する小論文課題に答えること。なお, 「環境・循環型社会・生物多様性白書」(<a href="http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/">http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/</a>)を参考にすること。</p>	

#### 5. 口述試験

- ・「秋季入試, 10月入学入試」の口述試験は1人10分～20分程度の面接試験である。試験会場と試験時間は専門科目前に通知する。
- ・「秋季推薦入試」の口述試験の発表時間は10分, 質疑応答は20分～30分程度とする。発表は卒業論文あるいは本学院で行いたい研究テーマについて行う。発表後に, 発表内容および入学後の修学に関わる能力についての自己推薦書(A4版1枚を提出のこと)などに基づき質疑応答を行う。試験会場と試験時間は受験票送付時に通知する。
- ・「春季入試」の口述試験の発表時間は10分, 質疑応答は15分～20分程度とする(実践コース以外の3コース)。発表は卒業論文あるいは本学院で行いたい研究テーマについて行う。パソコンを持参し, パワーポイント等を用いて行うこと。社会人など学部卒業から長期間経過している者は, 最近の活動について発表してもよい。国際環境保全コースを志望する者は, 研究の国際的意義をも含めて英語のみで発表すること。実践環境科学コースを志望するものは, 1人15～20分程度の面接試験である。試験会場と試験時間は受験票送付時に通知する。

# 地球圏科学専攻

## 1. 試験時間, 試験内容等

入学試験	試験期日	試験科目	時間	備考
秋季入試, 10月入学入試	8月23日	外国語	10:00~12:00	「3.外国語」参照
		専門科目	13:00~16:00	「2.専門科目」参照
	8月24日	口述試験	別途指定	試験時間・控室などの一覧を受験票送付時に通知する。
秋季特別入試	11月21日	基礎学力試験	9:30~11:00	「4.秋季特別入試」参照
		課題発表・ 口述試験	別途指定	
春季入試	平成31年2月28日	外国語	10:00~12:00	「3.外国語」参照
		専門科目	13:00~16:00	「2.専門科目」参照
	平成31年3月1日	口述試験	別途指定	試験時間・控室などの一覧を受験票送付時に通知する。

## 2. 専門科目(秋季入試, 10月入学入試, 春季入試)

コース	秋季入試, 10月入学入試	春季入試
生物地球化学 (大気海洋化学・ 環境変遷学) ※	以下の a方式, または b方式によるので, どちらかを選択すること。	
	a	小論文(志望動機, 研究に対する抱負などを問う)と, 下記の専門科目試験による。小論文は専門科目試験の最初の60分で提出する。 専門科目: 化学, 生物学, 地学から各2問, 合計6問の中から2問を選択して解答すること。
	b	出願期間最終日の2週間前までにコース教員に連絡を取り, 与えられた課題について, 4,000字程度の小論文を出願書類と共に提出すること。
大気海洋物理学・気候力学	・必答問題: 数学および物理学から基礎的な事柄を問う小問について全てに解答すること。 ・選択問題: 数学2問, 物理学2問, 地球物理学(気象学, 海洋物理学)3問, 合計7問のうちから2問を選択し解答すること。	数学および物理学(古典物理学)より4問を出題するので, 全てに解答すること。そのうち約半分は特に基礎的な事柄について問う。
雪氷・ 寒冷圏科学	以下のa方式による。	
	a	物理学, 化学, 気象学, 水文学, 第四紀学の5科目から2科目を選択して解答すること。ただし, 選択する科目は出願前に決め, 2つの科目名を願書(2)の下部に記入すること。
	b	出願期間最終日の2週間前までにコース教員に連絡を取り, 与えられた課題について, 4,000字程度の小論文を出願書類と共に提出すること。

※大気海洋化学・環境変遷学コースは平成31年度から生物地球化学コースに名称変更予定です。平成30年10月入学者は現在の大気海洋化学・環境変遷学コースに, 平成31年4月入学者は生物地球化学コースに所属することになります。

## 3. 外国語(秋季入試, 10月入学入試, 春季入試)

- ・ 外国語は「英語」とする。
- ・ TOEFL, TOEICまたはIELTSのスコアシートを提出した場合は, 外国語試験を受験しなくてもよい。
- ・ スコアシートを提出しても, 外国語試験の受験は可能である(専攻が定めた換算式により優れた方の成績を外国語試験の成績とする)。

#### 4. 秋季特別入試

- (1) 事前連絡: 平成30年9月4日以降, できるだけ早く, 遅くとも出願期間最終日までに事前連絡を行い, コース別に指定する課題, 試験当日の提出物, 口述試験の内容について指示を受けること。

連絡先は [ess\\_info@eoas.ees.hokudai.ac.jp](mailto:ess_info@eoas.ees.hokudai.ac.jp) とする。このメールアドレスは, 受験についての疑問解消の他, 研究室訪問の斡旋依頼などに活用することもできる。ただし, 研究室訪問の受入れは, 出願期間最終日までに限る。

- (2) 基礎学力試験, コース別課題, 試験当日の提出物, 口述試験について

- コース別課題の具体的な内容は事前連絡の際に指示する。過去の課題例や発表の実施要領などを志望コースのホームページで公開しているので参照すること。

生物地球化学(大気海洋化学・環境変遷学)コース <http://geos.ees.hokudai.ac.jp/hag/examination.html>

大気海洋物理学・気候力学コース <http://wwwwoa.ees.hokudai.ac.jp/exam/shuukitokubetu.html>

雪氷・寒冷圏科学コース [https://sites.google.com/site/courseincryosphere/Entranceguide\\_j/entranceexam\\_j](https://sites.google.com/site/courseincryosphere/Entranceguide_j/entranceexam_j)

- 口述試験の試験時間は基礎学力試験前に通知する。
- 口頭発表では, 内容に加え, 聞き手に内容を理解させようとする意欲・努力も評価する。
- 発表に使用する機材等: 受験生は, 試験室に準備されたパワーポイント(PowerPoint)とPDFファイルの表示可能なパソコン・プロジェクタとホワイトボードを利用できる。例えば発表内容を自分のパソコンあるいはUSBメモリに入れて持参し, パソコン・プロジェクタを用いて図や表を活用した発表を行うことができる。またホワイトボードや, 準備したポスターを発表に使うこともできる。
- コース別の内容は以下の表の通り。

##### (i) 生物地球化学(大気海洋化学・環境変遷学)コース

基礎学力試験	英語の学力を問う筆記試験とコース別課題に対する理解度を問う筆記試験を行う。
コース別課題	事前に課題を与える。課題に対する答案を試験当日に提出する。また, 課題に関する筆記試験(上述)及び課題に関する口頭発表と質疑応答を行う。
試験当日の提出物(基礎学力試験開始時に提出)	課題に対する答案および志望動機について記述した書面(500-1,000字)。
口述試験	課題に関する口頭発表と質疑応答を行い, 次に志望動機等に関する質疑応答を行う(合計30分程度)。

##### (ii) 大気海洋物理学・気候力学コース

基礎学力試験	数学および物理学(古典物理学)より, 基礎的な事柄について問う筆記試験。
コース別課題	事前に課題を与える。課題に関する口頭発表と質疑応答を行う。
試験当日の提出物(基礎学力試験開始時に提出)	志望動機について記述した書面(A4用紙1ページ以内)。
口述試験	課題に関する口頭発表と質疑応答を行い, 次に志望動機に関する質疑応答を行う(合計30分)。

##### (iii) 雪氷・寒冷圏科学コース

基礎学力試験	英語の学力を問う筆記試験。英和辞書(冊子体に限る)の使用を可とする。
コース別課題	事前に課題を与える。課題についてまとめた小論文を試験当日に提出する。また, 課題に関する口頭発表と質疑応答を行う。
試験当日の提出物(基礎学力試験開始時に提出)	小論文(2,000字程度)。志望動機について記述した書面(A4用紙1ページ以内)。
口述試験	課題に関する口頭発表と質疑応答を行い, 次に志望動機等に関する質疑応答を行う(合計30分)。

# 生物圏科学専攻

## 1. 試験時間, 試験内容等

特別推薦入試(高専専攻科在学生対象)

試験期日	試験科目	時 間	備 考
5月28日	外国語	—	TOEFL, TOEICまたはIELTSのスコアで判定を行う。願書とともに必ずいずれかのスコアシートを提出すること。
	口述試験	別途指定	提出された自己推薦書に関する質疑応答を含めた口頭試問を行う。実施時間・場所は、受験票送付時に通知する。

秋季入試, 10月入学入試

試験期日	試験科目	時 間	備 考											
8月23日	外国語	10:00～ 12:00	外国語は「英語」とする。											
	専門科目	13:00～ 15:00	<p>以下の3科目から出題される合計12問の中から3問を選択し、解答すること。解答する3問はどの科目から選択してもよい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">科 目</th> <th>参考図書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>フィールド科学系科目(4問)</td> <td>生態学, 農学, 森林科学の分野を中心に出题する。 「レーヴァン・ジョンソン生物学(上)(下)培風館, 「生態学入門」東京化学同人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>生命科学系科目(4問)</td> <td>分子生物学, 生化学, 細胞生物学, 細胞生理学の分野を中心に出题する。 「レーヴァン・ジョンソン生物学(上)(下)培風館, 「細胞の分子生物学」ニュートンプレス</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>水圏・海洋学系科目(4問)</td> <td>水圏生物学, 海洋学, 水産科学の分野を中心に出题する。 「改訂:水産海洋ハンドブック」生物研究社, 「ポール.R.ヒネ海洋学」東海大学出版会</td> </tr> </tbody> </table>	科 目		参考図書	1	フィールド科学系科目(4問)	生態学, 農学, 森林科学の分野を中心に出题する。 「レーヴァン・ジョンソン生物学(上)(下)培風館, 「生態学入門」東京化学同人	2	生命科学系科目(4問)	分子生物学, 生化学, 細胞生物学, 細胞生理学の分野を中心に出题する。 「レーヴァン・ジョンソン生物学(上)(下)培風館, 「細胞の分子生物学」ニュートンプレス	3	水圏・海洋学系科目(4問)
科 目		参考図書												
1	フィールド科学系科目(4問)	生態学, 農学, 森林科学の分野を中心に出题する。 「レーヴァン・ジョンソン生物学(上)(下)培風館, 「生態学入門」東京化学同人												
2	生命科学系科目(4問)	分子生物学, 生化学, 細胞生物学, 細胞生理学の分野を中心に出题する。 「レーヴァン・ジョンソン生物学(上)(下)培風館, 「細胞の分子生物学」ニュートンプレス												
3	水圏・海洋学系科目(4問)	水圏生物学, 海洋学, 水産科学の分野を中心に出题する。 「改訂:水産海洋ハンドブック」生物研究社, 「ポール.R.ヒネ海洋学」東海大学出版会												
8月24日	口述試験	別途指定	試験時間は外国語試験前に通知する。											

秋季特別入試

試験期日	試験科目	時 間	備 考
11月21日	外国語	—	TOEFL, TOEICまたはIELTSのスコアで判定を行う。願書とともに必ずいずれかのスコアシートを提出すること。
	専門科目	9:30～ 11:00	環境・生物学に関わる一般的な課題を、小論文形式で出題する。
	口述試験	別途指定	実施時間・場所は、コースにより異なるので、専門科目試験前に口述試験時間等一覧を配布する。

春季入試

試験期日	試験科目	時 間	備 考
平成31年 2月28日	外国語	10:00～ 12:00	外国語は「英語」とする。
平成31年 3月1日	口述試験 (専門科目試験を含む)	別途指定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門科目の試験は筆記ではなく、口述試験の一部として行う。</li> <li>・卒業論文または研究計画について発表し、発表内容について専門分野に関する質疑応答を含めた口頭試問を行う。発表時間は15分とする。発表用に液晶プロジェクタとパソコン(Windows)を用意するので、電子ファイルをUSBメモリに保存して持参すること。</li> <li>・実施時間・場所はコースにより異なるので、外国語試験前に口述試験時間等一覧を配付する。</li> </ul>

2. 指導希望教員への事前の連絡について

出願希望学生は、全員、以下の照会方法により志望指導教員の受入体制を確認の上、出願すること。

- 1) 志望するコース・指導教員が決まっている場合は、電子メール(17～18ページ参照)で直接連絡すること。  
第2志望の指導教員がいる場合には、第1, 第2志望の両方の教員と連絡を取ること。
- 2) 志望するコース・指導教員が決まっていない場合は、志望専攻の専攻長(envsci@ees.hokudai.ac.jp)へ連絡すること。

# 環境物質科学専攻

## 1. 試験時間, 試験内容等

入学試験	試験日	試験科目	時間	備考
特別推薦入試 (高専専攻科 在学生対象)	5月28日	口述試験	受験票送付時 に通知	提出された自己推薦書に基づく発表および 質疑応答
秋季入試および 10月入学入試	8月23日	外国語	10:00~12:00	「2. 外国語」参照
		専門科目	13:00~16:00	<b>基礎化学選抜:</b> 基礎化学(物理化学系2問およ び有機化学系2問)の合計4問を全てに解答
	8月24日	口述試験	外国語試験前 に別途指定	<b>基礎化学選抜:</b> 面接 <b>自己推薦選抜:</b> 提出された自己推薦書に 基づく発表および質疑応答
秋季推薦入試 下記(注)参照	11月21日	口述試験	受験票送付時 に通知	提出された自己推薦書に基づく発表および 質疑応答
春季入試	平成31年 2月28日	外国語	10:00~12:00	「2. 外国語」参照
		専門科目	13:00~16:00	<b>基礎化学選抜:</b> 基礎化学(物理化学系2問およ び有機化学系2問)の合計4問を全てに解答
	平成31年 3月1日	口述試験	外国語試験前 に別途指定	<b>基礎化学選抜:</b> 面接 <b>自己推薦選抜:</b> 提出された自己推薦書に 基づく発表および質疑応答

(注) 秋季推薦入試は, 国内大学在学生および国内大学卒業生もしくは高専専攻科修了生を対象とする。

## 2. 外国語

- ・外国語は「英語」とする。
- ・TOEFL, TOEICまたはIELTSを本学試験日から遡り2年以内に受験した者はスコアシートを提出すること(合否判定の際に考慮することもある)。ただし, スコアシート提出者も外国語試験を受験しなければならない。

## 3. 秋季入試, 10月入学入試, および春季入試

- ・出願時に基礎化学選抜, 自己推薦選抜あるいは併願のいずれかを選択すること。
- ・基礎化学選抜では, 本専攻で行う教育・研究活動の基礎となる専門科目の学力を筆記試験により判定する。  
口述試験にかわり面接を行う。一方, 自己推薦選抜では, 筆記試験では判定の難しい研究遂行能力, 幅広い思考力や適性などについて口述試験のみで判定する。
- ・外国人志願者は事前に志望指導教員に問い合わせること。

#### 4. 口述試験

【秋季入試, 10月入学入試, 春季入試（自己推薦選抜）・特別推薦入試・秋季推薦入試】：

- ・提出された自己推薦書に基づく発表および質疑応答を行う。発表は7分間、質疑応答は8分間である。
- ・質疑応答では基礎知識および研究意欲等についても問う。発表用に液晶プロジェクタとパソコンを用意するので、発表用のファイルをUSBメモリで持参すること。

【秋季入試, 10月入学入試, 春季入試（基礎化学選抜）】：面接を行なう。

#### 5. 願書への志望指導教員等の記載について

1) 志望するコース・指導教員が決まっている場合

願書には志望する指導教員が所属するグループ名およびコース(下表参照)を記載すること。

2) 志望するコース・指導教員が決まっていない場合

専攻長メールアドレス(sfmc@ees.hokudai.ac.jp)へ連絡すること。

教員によっては特定の入試において受入れを行わない場合がある。出願希望学生は、あらかじめ志望指導教員の受入体制を確認(19ページ参照)することが望ましい。

#### 6. 指導教員一覧表

コース	研究グループ	所属教員
生体物質科学コース	坂入グループ	坂入特任教授 山田准教授
	松田グループ	松田教授 梅澤准教授 諸角助教
	沖野グループ	沖野教授(兼務)
ナノ環境材料コース	小西グループ	小西教授 七分准教授
	八木グループ	八木教授 中田助教 加藤助教
	神谷グループ	神谷教授 大友助教
	野呂グループ	野呂教授(兼務)
	廣川グループ	廣川准教授
	豊田グループ	豊田准教授(兼務)
光電子科学コース	中村(貴)グループ	中村(貴)教授 高橋助教
	ビジュグループ	ビジュ教授 高野准教授 柚山助教
環境触媒化学コース	大谷グループ	大谷教授 コワルスカ准教授 高島助教

\* 各研究グループに所属する教員は変更する場合がありますので、出願前に確認すること。

## 研究指導教員一覧表(修士課程)

平成 30 年 4 月 1 日現在

### 環境起学専攻

コース	職名	氏名	メールアドレス
人間・生態システム	教授	露崎 史朗	tsuyu@ees.hokudai.ac.jp
	教授	渡邊 悌二	twata@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	石川 守	mishi@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	白岩 孝行	shiraiwa@lowtem.hokudai.ac.jp
	准教授	佐藤 友徳	t_sato@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	根岸 淳二郎	negishi@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	藤井 賢彦	mfujii@ees.hokudai.ac.jp
	特任教授	高田 壯則	takada@ees.hokudai.ac.jp
	教授	原 登志彦	t-hara@pop.lowtem.hokudai.ac.jp
	教授	荒木 肇	araki@fsc.hokudai.ac.jp
	准教授	豊田 和弘	kazuhiro@ees.hokudai.ac.jp
環境適応科学	教授	野呂 真一郎	nororo@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	豊田 和弘	kazuhiro@ees.hokudai.ac.jp
	教授	沖野 龍文	okino@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	藏崎 正明	kura@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	山田 幸司	yamada@ees.hokudai.ac.jp
	助教	鷺尾 健司	washi@ees.hokudai.ac.jp
実践環境科学	教授	山中 康裕	galapen@ees.hokudai.ac.jp
	教授	渡邊 悌二	twata@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	白岩 孝行	shiraiwa@lowtem.hokudai.ac.jp
	准教授	根岸 淳二郎	negishi@ees.hokudai.ac.jp
国際環境保全	教授	沖野 龍文	okino@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	藏崎 正明	kura@ees.hokudai.ac.jp
	助教	ラム アバタル	ram@ees.hokudai.ac.jp
	教授	グレーベ, ラルフ・ギュンター	greve@lowtem.hokudai.ac.jp
	教授	渡邊 悌二	twata@ees.hokudai.ac.jp
	教授	露崎 史朗	tsuyu@ees.hokudai.ac.jp
	教授	野呂 真一郎	nororo@ees.hokudai.ac.jp
	教授	山中 康裕	galapen@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	石川 守	mishi@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	白岩 孝行	shiraiwa@lowtem.hokudai.ac.jp
	准教授	佐藤 友徳	t_sato@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	根岸 淳二郎	negishi@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	藤井 賢彦	mfujii@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	豊田 和弘	kazuhiro@ees.hokudai.ac.jp
特任教授	高田 壯則	takada@ees.hokudai.ac.jp	

## 研究指導教員一覧表(修士課程)

平成 30 年 4 月 1 日現在

### 地球圏科学専攻

コース	職名	氏名	メールアドレス
生物地球化学 (※大気海洋化学・環境変遷学)	教授	杉本 敦子	atsukos@ees.hokudai.ac.jp
	教授	鈴木 光次	kojis@ees.hokudai.ac.jp
	教授	力石 嘉人	ychikaraishi@lowtem.hokudai.ac.jp
	准教授	渡辺 豊	yywata@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	山本 正伸	myama@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	西岡 純	nishioka@lowtem.hokudai.ac.jp
	准教授	関 宰	seki@pop.lowtem.hokudai.ac.jp
	准教授	山下 洋平	yamashiy@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	亀山 宗彦	skameyama@ees.hokudai.ac.jp
	助教	入野 智久	irino@ees.hokudai.ac.jp
	助教	宮崎 雄三	yuzom@lowtem.hokudai.ac.jp
	助教	滝沢 侑子	takizaway@lowtem.hokudai.ac.jp
	助教	的場 澄人	matoba@pop.lowtem.hokudai.ac.jp
	助教	飯塚 芳徳	iizuka@lowtem.hokudai.ac.jp
大気海洋物理学・気候力学	教授	久保川 厚	kubok@ees.hokudai.ac.jp
	教授	江淵 直人	ebuchi@lowtem.hokudai.ac.jp
	教授	長谷部 文雄	f-hasebe@ees.hokudai.ac.jp
	教授	三寺 史夫	humiom@lowtem.hokudai.ac.jp
	教授	大島 慶一郎	ohshima@lowtem.hokudai.ac.jp
	教授	渡辺 力	t-wata@lowtem.hokudai.ac.jp
	教授	谷本 陽一	tanimoto@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	藤原 正智	fuji@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	青木 茂	shigeru@lowtem.hokudai.ac.jp
	准教授	堀之内 武	horinout@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	深町 康	yasuf@lowtem.hokudai.ac.jp
	准教授	佐藤 友徳	t_sato@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	吉森 正和	myoshimo@ees.hokudai.ac.jp
	講師	中村 知裕	nakamura@lowtem.hokudai.ac.jp
	助教	水田 元太	mizuta@ees.hokudai.ac.jp
	助教	川島 正行	kawasima@lowtem.hokudai.ac.jp
	助教	豊田 威信	toyota@lowtem.hokudai.ac.jp
	助教	平野 大輔	hirano@lowtem.hokudai.ac.jp
雪氷・寒冷圏科学	教授	杉山 慎	sugishin@lowtem.hokudai.ac.jp
	教授	渡辺 力	t-wata@lowtem.hokudai.ac.jp
	教授	グレーベ, ラルフ・ギュンター	greve@lowtem.hokudai.ac.jp
	教授	三寺 史夫	humiom@lowtem.hokudai.ac.jp
	准教授	石川 守	mishi@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	白岩 孝行	shiraiwa@lowtem.hokudai.ac.jp
	准教授	青木 茂	shigeru@lowtem.hokudai.ac.jp
	助教	石井 吉之	ishiiy@pop.lowtem.hokudai.ac.jp
	助教	曾根 敏雄	tsone@pop.lowtem.hokudai.ac.jp
	助教	的場 澄人	matoba@pop.lowtem.hokudai.ac.jp
	助教	下山 宏	k-shimo@lowtem.hokudai.ac.jp
	助教	飯塚 芳徳	iizuka@lowtem.hokudai.ac.jp
	助教	川島 正行	kawasima@lowtem.hokudai.ac.jp
	助教	豊田 威信	toyota@lowtem.hokudai.ac.jp

※大気海洋化学・環境変遷学コースは平成 31 年度から生物地球化学コースに名称変更予定です。平成 30 年 10 月入学者は現在の大気海洋化学・環境変遷学コースに、平成 31 年 4 月入学者は生物地球化学コースに所属することになります。

## 研究指導教員一覧表(修士課程)

平成 30 年 4 月 1 日現在

### 生物圏科学専攻 (1)

コース	職名	氏名	メールアドレス
多様性生物学	教授	甲山 隆司	kohyama@ees.hokudai.ac.jp
	教授	露崎 史朗	tsuyu@ees.hokudai.ac.jp
	教授	日浦 勉	hiura@fsc.hokudai.ac.jp
	准教授	内海 俊介	utsumi@fsc.hokudai.ac.jp
	准教授	工藤 岳	gaku@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	中村 誠宏	masahiro@fsc.hokudai.ac.jp
生態遺伝学	助教	久保 拓弥	kubo@ees.hokudai.ac.jp
	教授	大原 雅	ohara@ees.hokudai.ac.jp
	教授	鈴木 仁	htsuzuki@ees.hokudai.ac.jp
分子生物学	准教授	越川 滋行	koshi@ees.hokudai.ac.jp
	教授	福井 学	my-fukui@pop.lowtem.hokudai.ac.jp
	教授	森川 正章	morikawa@ees.hokudai.ac.jp
	教授	山口 良文	bunbun@lowtem.hokudai.ac.jp
	准教授	落合 正則	ochiai@lowtem.hokudai.ac.jp
	准教授	笠原 康裕	y-kasaha@lowtem.hokudai.ac.jp
	准教授	藏崎 正明	kura@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	三輪 京子	miwakyoko@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	山崎 健一	ymzk@ees.hokudai.ac.jp
	助教	小島 久弥	kojimah@pop.lowtem.hokudai.ac.jp
	助教	寺島 美亜	m.terashima@lowtem.hokudai.ac.jp
植物生態学	助教	鷲尾 健司	washi@ees.hokudai.ac.jp
	教授	甲山 隆司	kohyama@ees.hokudai.ac.jp
	教授	原 登志彦	t-hara@pop.lowtem.hokudai.ac.jp
	准教授	工藤 岳	gaku@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	隅田 明洋	asumida@lowtem.hokudai.ac.jp
	助教	小野 清美	kiyomion@pop.lowtem.hokudai.ac.jp
	助教	久保 拓弥	kubo@ees.hokudai.ac.jp
動物生態学	助教	長谷川 成明	shasegaw@lowtem.hokudai.ac.jp
	教授	齊藤 隆	tsaitoh@fsc.hokudai.ac.jp
	特任教授	高田 壯則	takada@ees.hokudai.ac.jp
	教授	野田 隆史	noda@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	揚妻 直樹	agetsuma@fsc.hokudai.ac.jp
	准教授	岸田 治	kishida@fsc.hokudai.ac.jp
	准教授	小泉 逸郎	itsuro@ees.hokudai.ac.jp
	助教	大館 智志	ohd@pop.lowtem.hokudai.ac.jp

## 研究指導教員一覧表(修士課程)

平成 30 年 4 月 1 日現在

### 生物圏科学専攻 (2)

コース	職名	氏名	メールアドレス
海洋生物生産学	教授	工藤 勲	ikudo@fish.hokudai.ac.jp
	准教授	浦 和寛	kazu@fish.hokudai.ac.jp
	准教授	清水 宗敬	mune@fish.hokudai.ac.jp
	准教授	芳村 毅	yoshimura-t@fish.hokudai.ac.jp
水圏生物学	教授	仲岡 雅裕	nakaoka@fsc.hokudai.ac.jp
	教授	宮下 和士	miyashi@fish.hokudai.ac.jp
	教授	本村 泰三	motomura@fsc.hokudai.ac.jp
	教授	山羽 悦郎	eyamaha@fsc.hokudai.ac.jp
	准教授	長里 千香子	nagasato@fsc.hokudai.ac.jp
	准教授	三谷 曜子	yo_mitani@fsc.hokudai.ac.jp
	准教授	宗原 弘幸	hm@fsc.hokudai.ac.jp
	准教授	四ツ倉 典滋	yotsukur@fsc.hokudai.ac.jp
	准教授	伊佐田 智規	t-isada@fsc.hokudai.ac.jp
	助教	傳法 隆	denboh@fsc.hokudai.ac.jp
	助教	山本 潤	yamaj@fish.hokudai.ac.jp
	森林圏フィールド科学	教授	齊藤 隆
教授		佐藤 冬樹	f-satoh@fsc.hokudai.ac.jp
教授		柴田 英昭	shiba@fsc.hokudai.ac.jp
教授		日浦 勉	hiura@fsc.hokudai.ac.jp
教授		吉田 俊也	yoto@fsc.hokudai.ac.jp
准教授		揚妻 直樹	agetsuma@fsc.hokudai.ac.jp
特任准教授		植村 滋	umr@fsc.hokudai.ac.jp
准教授		内海 俊介	utsumi@fsc.hokudai.ac.jp
特任准教授		門松 昌彦	kado@fsc.hokudai.ac.jp
准教授		岸田 治	kishida@fsc.hokudai.ac.jp
准教授		高木 健太郎	kentt@fsc.hokudai.ac.jp
准教授		車 柱榮	jycha@fsc.hokudai.ac.jp
准教授		中路 達郎	nakaji@fsc.hokudai.ac.jp
准教授		中村 誠宏	masahiro@fsc.hokudai.ac.jp
准教授		福澤 加里部	caribu@fsc.hokudai.ac.jp
准教授		小林 真	makoto@fsc.hokudai.ac.jp
助教		野村 睦	nomu@fsc.hokudai.ac.jp
耕地圏科学		教授	荒木 肇
	准教授	河合 正人	m_kawai@fsc.hokudai.ac.jp
	准教授	星野 洋一郎	hoshino@fsc.hokudai.ac.jp
	助教	平田 聡之	hirata@fsc.hokudai.ac.jp
	助教	三谷 朋弘	tmitani@fsc.hokudai.ac.jp

## 研究指導教員一覧表(修士課程)

平成 30 年 4 月 1 日現在

### 環境物質科学専攻

コース	職名	氏名	メールアドレス
生体物質科学	特任教授	坂入 信夫	nsaka@ees.hokudai.ac.jp
	教授	松田 冬彦	fmatsuda@ees.hokudai.ac.jp
	教授	沖野 龍文	okino@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	山田 幸司	yamada@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	梅澤 大樹	umezawa@ees.hokudai.ac.jp
	助教	諸角 達也	moro@ees.hokudai.ac.jp
ナノ環境材料	教授	小西 克明	konishi@ees.hokudai.ac.jp
	教授	八木 一三	iyagi@ees.hokudai.ac.jp
	教授	神谷 裕一	kamiya@ees.hokudai.ac.jp
	教授	野呂 真一郎	nororo@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	豊田 和弘	kazuhiro@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	廣川 淳	hirookawa@ees.hokudai.ac.jp
	准教授	七分 勇勝	shichibu@ees.hokudai.ac.jp
	助教	中田 耕	Knakata@ees.hokudai.ac.jp
	助教	加藤 優	masaru.kato@ees.hokudai.ac.jp
光電子科学	助教	大友 亮一	otomo@ees.hokudai.ac.jp
	教授	中村 貴義	tnaka@es.hokudai.ac.jp
	教授	ビジュ, バスデバンピライ	biju@es.hokudai.ac.jp
	准教授	高野 勇太	tak@es.hokudai.ac.jp
	助教	柚山 健一	yuyama@es.hokudai.ac.jp
環境触媒化学	助教	高橋 仁徳	ktakahashi@es.hokudai.ac.jp
	教授	大谷 文章	ohtani@cat.hokudai.ac.jp
	准教授	コワルスカ, エバ	kowalska@cat.hokudai.ac.jp
	助教	高島 舞	takashima.m@cat.hokudai.ac.jp